

令和5年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	8	学 校 名	沼津特別支援学校伊豆田方分校	記 載 者	長谷川 裕己
------	---	-------	----------------	-------	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
安全	地域での安全につながる防災教育	- 生徒が、発災時の具体的な行動を理解している。 - 職員が、発災・緊急時にとるべき行動を把握している。	A	A	災害の多い年であったこともあり、防災について再確認することができた。
安全	誰もが安心して通える学校	- 職員や生徒が、互いの良さや苦手を認め、寄り添う姿勢や称賛の言葉を用いて関わっている。 - 校内の情報や物品がシンプルに機能的に整理されている。	B	B	- 少ない収納スペースであるが、整理整頓を心掛け、上手に活用している。 - デジタル機器の管理・活用が充実している。
専門	多面的な生徒理解と生徒自身の自己理解への支援	作業学習をはじめとする学習場面において、生徒が主体となって活躍している。	B	A	交流の回数や内容は充実している。より良い交流に向け、精選は必要であると感じる。
専門	個に応じた適切な進路決定	- 生徒が、勤労観や職業適性について理解を進めている。 - 保護者が、進路選択や職場実習の価値を重視し、協力している。	B	A	今後も、職場実習を機に、進路決定に向けた指導の充実を期待している。
連携	関係諸機関とのつながりを大切にしたい切れ目のない支援と指導	- 職員が、生徒や保護者のニーズを把握し、必要に応じて面談や関係者会議を実施している。 - 保護者が、生活安定や地域安全の価値を重視し、支援している。	A	A	関係機関との連携が密にとれた。中学校には、分校以外の進路情報についても情報提供をしていくと良い。
連携	生徒の自立と輝きに向けた共生・共育	- 田方農業高校との共同学習や行事をはじめ、外部人材との交流学習に積極的に参加している。 - 学校運営協議会から具体的な支援を得ている。	B	A	生徒にとって魅力的な、分校ならではの交流が充実していた。
チーム	働きがいのある職場	- 職員が、本校事務室からの連絡を適時に確認し、連携している。 - 職員が、時数管理や行事計画の工夫などにより、生徒と向き合う時間や教材研究の時間、情報共有の時間を確保している。	A	A	デジタル化が進み、業務の効率化が急速に図られた。